

筑波大学芸術専門学群と茨城県のコラボ動画 「薬剤耐性（AMR）」対策にかかる普及啓発動画を公開

薬剤耐性（AMR）は抗菌薬の不適切な使用を背景とし、感染症に係る国際的な課題として認知されています。日本でも2016年から「薬剤耐性対策アクションプラン」が策定されており、本県でも2019年に「茨城県薬剤耐性対策推進会議」を設置し、薬剤耐性対策に関する普及啓発や調査研究等を実施しております。

茨城県ではこの度、薬剤耐性をより身近な問題であることを多くの方に周知するために、**筑波大学芸術専門学群の学生と協同で、普及啓発動画を作成**いたしました。芸術分野を専攻する学生たちの感性から生まれた、ユーモアで分かりやすく薬剤耐性の実情を紹介する本動画により、多くの方が薬剤耐性の現状を知ること、注意喚起の一助になることを期待しております。

つきましては、**本動画の公開にかかる広報・周知等**にご協力頂きますようお願いいたします。



【正しく使おう抗生物質】（筑波大学芸専学生作品）
<https://youtu.be/1PXNSfhYSik>



【薬剤耐性菌って知っていますか？】
（茨城県薬剤耐性対策推進会議作成）
https://youtu.be/Z6wM0Y_ydbM



【おじさんカプセルず】（筑波大学芸専学生作品）
<https://youtu.be/ikUUGcxQIOs>

薬剤耐性（AMR）について

特定の種類の抗菌薬や抗ウイルス薬が効きにくくなる、または効かなくなることを、「薬剤耐性」と言います。耐性を持った細菌やウイルスが増えると、薬が効かなくなることから、これまでは、感染、発症しても適切に治療すれば軽症で回復できた感染症が、治療が難しくなって重症化しやすくなり、さらには死亡に至る可能性が高まります。

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/infection/activities/amr.html>

（内閣官房 新型コロナウイルス等感染症対策推進室のページより）

茨城県薬剤耐性対策推進会議について（事務局：茨城県衛生研究所）

本会議は、県における抗菌薬への薬剤耐性に対する取り組み（普及啓発、調査研究等）を具体的かつ効果的に推進するため、令和元年11月に設置しました。現在は7名の委員で構成されています。（県内医療機関に勤務する医師、看護師、薬剤師及び臨床検査技師、大学の専門家、保健師、獣医師）

【県ページ】<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/amr/kaigi.html>

【本件に関するお問合せ】 茨城県衛生研究所 企画情報部 TEL.029-241-6652

